

大内まちづくり 協議会だより



vol.13

2017年3月

発行：大内まちづくり協議会

〒753-0221 山口市大内矢田北一丁目10番11号（大内地域交流センター内）TEL：050-1265-7063 FAX：083-927-0473



第38回大内まつり 開会式

あいさつ

大内まちづくり協議会 会長 清水 春治



平成29年も、はや2カ月を過ぎましたが、皆様には、すこやかな新春をお迎えのことと存じます。

協働のまちづくりをめざし、大内まちづくり協議会が発足し7年目となりました。

「伸びゆく大内 人の輪 夢の輪 地域の輪」を目標に、協議会の5部会（地域振興、文化教養、健康福祉、生活環境、安心安全）では、各種の事業を行いました。これから、28年度事業の取りまとめと29年度の事業計画を策定していきます。

折角の機会ですので、私が常日頃から感じていることをお話しさせていただきます。

大内の特色は、仁保・問田川の2河川が流れ、多数の史跡や古刹がある山紫水明の地です。一方、人口はわずかずつではありますが、増加傾向にあります。特徴的なのは、シルバー世代はもとより、子どもが増えていることです。また、大型スーパー、コンビニ、医療・介護施設等も多数あり、生活の利便性が高い地域だと思います。しかし、利点は欠点にもなります。集中豪雨時は、多数の家屋冠水発生の危険性があり、子ども達の居場所の不足、慢性的な交通渋滞等が挙げられます。

安全で安心して住みやすい地域づくりを進めていき、利点を欠点としないよう、各種事業やイベントを実施してまいります。そのために、協議会46名の部会員がボランティアで活動しています。

地域の皆様のご協力をお願いします。

地域振興部

部会長 長沼 清人

地域活動活性化の課題で、大内連合自治会の研修会を開催し、各自治会でのゴミの分別収集など、ごみ処理の具体策を検討し、実践できるようにつとめました。

「大内の四季ふるさとカレンダー」を今年も作製して、地区の公共施設や希望する地区の方にお渡し、大内の素晴らしさを認識してもらいました。



自治会活動での課題とその解決策を考える
—ごみ問題について語る—

また、健康体育祭での入場行進で、地域自慢コンテストを実施し、地域の連帯意識と団結力を高めるようにしました。

今後は、大内地区の過去の歩みを掘り起こし、記録していくことにしています。



地域自慢コンテスト表彰式 優勝 殿河内



大内の四季カレンダー

健康福祉部

部会長 中川 忍子

今年度は市健康増進課とタイアップし「活動量に着目した地域型健康づくり」に取組みました。

「活動量アップで健康になろう」のDVDを視聴し、先ず部会員が確認を行った後に、「大内元気あつぷボディーをめざす健康講座」を開設しました。保健士さんによる活動量や血圧など健康状態のチェックと指導を受け、8月～11月までに7回実施しました。活動量計を使用するということで皆さんの関心が強く、また、この講座と「ふまねつと運動」ぶらり大内まち歩き」をコラボさせたことにより、45名の参加者があり、



大内元気あつぷボディーをめざす健康講座

皆さんの満足度が高い講座を開くことができました。

2月4日に開催しました「みんなで語ろう！」も、和やかな意見交換ができ、参加者のネットワークづくりに役立ったとの評価をいただきました。



ぶらり大内まち歩き



保健士さんの健康指導

生活環境部

部会長 江藤 恒充

生活環境部会では、地域の居住環境及び自然環境保護につながる取り組みを行っています。

本年は、特に里山河川ふれあい事業として、各団体が自ら企画し実行するイベント（お祭りやバーベキュー大会等）に補助金を出す計画でしたが、PR不足から応募者がありませんでした。29年度は是非、各地域で里山河川を利用して行われるイベントがあれば申し出をお願いします。

例年取り組んでおります、法定外公共物等整備事業（道路や水路等の整備）及び交通安全環境施設設置事業は、20件の申し出について検討し、12件を整備をすることとしました。



大内中ポランディア

河川美化活動助成金は、12自治（町内）会で取り組まれ、地域

内の河川美化にご協力いただきました。

休耕田の活用は、地主さんの厚意で交流センター脇の休耕田を借用し、ひまわりや菜の花を植栽して、近くの保育園や幼稚園の子ども達に楽しく遊んでもらいました。



保育・幼稚園児がひまわり畑で遊ぶ



ひまわりの種まき（大内中ポランディア）

安心安全部

部会長 高木 信明

安心で安全なまちづくりをするため、災害対策の充実と交通安全に取り組んでいます。

自治会の自主防災組織も7自治会となり、徐々にではありますが、防災意識も高まっているように思われます。そのため、防災資器材の更なる整備をはかり、機材の強化とともに、交通安全にも取り組みました。

自主防災組織への支援に関するアンケート調査を、各自治会長さんにお願ひしました。寄せられた回答やご意見を部会で話し合い、これからの災害対策に有効に反映させていくこととしています。

また、交通安全と防犯につきまし



反射鏡の整備

ては、例年どおり巡回パトロール（青パト隊）や大内っ子まもり隊の活動により、子どもと地域の方々の安心と安全に取

り組みました。

29年度も大内地区の地域防災と交通安全などの向上に、役立つ事業を推進していきたいと思っています。



大内っ子まもり隊活動 大内小校区



大内っ子まもり隊活動 大内南小校区

文化教養部

部会長 阿部 正二郎

文化教養部会の役割は、「青少年健全育成」「自ら学び体験する機会の充実」「歴史資源及び伝統文化の継承と活用」「学校教育活動への支援」の4つがあります。

つまり、地区住民の生涯学習のお手伝いをさせてもらう部会と考えると分かり易いかもしれません。

一昨年までの5年間は、特に「歴史資源及び伝統文化の継承と活用」に力を入れ、大内史跡マップを作成



けん玉 (小野)

し、それを活用した地域探訪事業を行ってきました。今年度は、これまでの事業を継続しながらも、「自ら学び体験する機会の充実」に軸足を置いて、地域で子どもを育てようと「大内」ドモジカン事業」を立ち上げました。

この事業は、各自治会単位で長期休業中の子どもの宿題のお手伝いや工作などの体験学習をする活動に対して、補助金や企画・運営方法等を支援するものです。今年度は、問田・小野・氷上の3地区がこの事業を利用し、地域の大人やボランティア



のこぎり体験 (氷上)

の講師達と夏休みの自由研究(木工・押し花・科学工作教室等)や護身術講習・そうめん流しなどを実施し、子どもも大人も笑顔が広がる時間を過ごしました。参加した子どもだけでなく、お世話していたいたいた地域の方も、充実した活動だったと満足感でいっぱいでした。

来年度以降も、その支援状況を拡大して取り組もうと思っていますので、積極的にご活用くださいますようお願いいたします。



AED講習 (問田)

編集後記

28年8月4日に「やまぐち車座トーク21in大内」が、大内地域交流センターで開催されました。

山口市長と関係部長に地域の課題を説明し、実現の可能性について協議しました。

○その1

大内南小学校区区の「公共施設」創設問題

○その2

大内地区の安心安全のための水害対策の充実

○その3

県道山口防府線の慢性的な渋滞の解消
それぞれの課題を早期に解決させるため、各種の機会をとらえて要望していく方針です。

